

# 千葉職対連ニュース

発行 千葉労災職業病対策連絡会

〒262-0032 千葉市花見川区幕張町 4-524-2

千葉民医連事務センタービル 2F

TEL/FAX 043-273-9199

E-mail : chiba\_syokutairen@ybb.ne.jp

## 千葉職対連第44回定期総会を開催



7月8日（日）午後、船橋市勤労市民センターに於いて、第44回千葉職対連総会が開催されました。梅雨明けの暑い日でしたが、来賓、役員、会員16名に参加いただきました。会長は安倍内閣が強行採決した「働き方改革」法は過労死を推進するもので今後の労働者の取組が重要とあいさつ。

議案提案では職対連の主な活動である毎月の「労災なんでも相談会」の来訪者が5年連続減少し、43年度は0の会場が2回あり19年1月に500回を数える相談会の今後を検討する時期に来ていることが提案されました。

発言では①労災の民営化、②兼業・副業の推進、③メンタル疾患でのパワハラをどう認定するか、④SE 労働者等専門職の労災認定に専門官の配置の必要性、⑤職場の労働安全衛生活動等の報告がありました。

閉会挨拶は藤野副会長より「働き方改革法」については47もの付帯決議がされており、厚労省の、月45時間、年間360時間が原則であり、あくまでもそれ以上の残業は特例であり、やむを得ない事情（限定的）の時だけであるので、付帯決議の内容をきちんと学習し、原則以上の残業をさせない取組の提案がありました。

## 過労死促進の悪法 「働き方改革」一括法が成立

過労死家族の会を中心に成立を願って取り組んだ「過労死等防止対策推進法」が2014年にできて4年、今度は過労死を促進させる「働き方改革一括法」が強行採決で成立しました。労働時間規制を取り払う「高度プロフェッショナル制度」は成果が出るまで何時間働いても残業代はゼロ。過労死と隣合わせになる制度の対象業務も収入要件も霧の中です。「高プロ」がいつのまにか全ての労働者に適用される危険があります。

「同一労働・同一賃金」も非正規労働者に“正規労働者並みの賃金”を期待させますが、正規労働者の賃金を“非正規労働者並み”に下げる危険もあります。しかも「働き方改革一括法」は欠陥だらけで、法律家や労働団体、議員の取

組で47項目の付帯決議がつきました。例えば、「高プロ」の付帯決議では「高プロ」の定規を①使用者に対し強い交渉力を持つ ②自ら希望する労働者に適用 ③使用者が労働内容を指示してはいけないとしています。

また「同一労働・同一賃金」では通常の労働者の待遇引下げは、改正の趣旨に反すると周知徹底することを求めています。厳格な付帯決議の実施をさせましょう。

更に、法律を実施するには90以上の政省令や指針をこれから作る必要があります。安全に働く為の政省令や指針を作らせましょう。

そして日本政府が国際労働機関（ILO）の労働時間規制の条約を100年批准していない事を訴えて世界の労働者と共闘しましょう。



## 明治維新から始まる「教育問題」③

伊藤元総理が歴史を隠したのは日本人にとっても国にとっても実に大きな問題でした。真実の歴史が国家の正史として公刊されそれが学校教育でも採用されていけば、日本の歴史学や教育には混乱も生じなかったでしょう。愚かな侵略戦争をすることもなく安倍総理が信じる「栄光の明治」は幻と消えるでしょう。

しかし学校ではその虚偽が教えられました。真実の歴史が隠ぺいされたため、長州藩と会津藩の立場が歴史学や教育学の分野では逆転したのです。「古今未曾有の朝敵」だった長州藩が「官軍」とされ、「忠臣」だった会津藩が「逆賊」と学校で教えられたのですからたまりません。弱い立場の会津の人たちが泣き寝入りでした。その後会津藩が天皇から感謝された宸筆が発見されましたが歴史も教育も正されませんでした。虚偽が真理に代わって固定化され続けたのです。

学問でも教育でも真実が排除されたばかりか、真実の解明も許されませんでした。国民や国家から真実が消されればどうなるでしょうか。国家の道徳や道義は地に落ち代わりに虚偽や建前がいつまでも横行したのです。

もし歴史の真実をあばき天皇の真実を解明すればその実行者は罪を問われました。文学や史書にも出てくる話ですが「天皇が人間であ

る」という主張をすれば、当時の人は死刑も覚悟しなければなりません。戦後、天皇が人間宣言をしたのですが80年間洗脳されてきた日本人の「誤解」を解くためでした。

このように国家による長期間の真実の隠蔽・弾圧は学問でも教育でも次第に日本人の思考能力を奪っていき、とうとう思考停止状態を招きました。虚偽が押し付けられ、その押し付けに歯向かうことも許されない日本人が愚かな戦争を始めたのもこの非合理的な思考が原因だと思います。

大陸への侵略戦争をしてきた当時の日本の政府・軍部首脳は中国戦線の行き詰まり・泥沼状態を打開できませんでした。「このまま状況を放置すればギリ貧になる。それがドカ貧になるよりましだとばかりに最後に一か八かやってみよう」として大切な国民の命を顧みず始めたのが日米戦争でした。当時の政府高官は基本的な思考力も判断力を失っていたのです。これが維新に始まる学問と教育のゆがみの結果であると私は考えています。

その教育のゆがみが、21世紀の日本の教育問題まで「隔世遺伝」のようにつながっているのが真実を隠す歴史修正主義の恐ろしいことだと思っています。

(北辰)

\* 明治維新から始まる「教育問題」は③で完結です。

### 当面の取組日程

千葉職対連事務局

7・17(火)	いの健千葉労働局要請	13:30~	千葉労働局
18(水)	千葉職対連常任幹事会	17:30~	民医連事務センタービル
20(金)	県職員公務災害裁判	13:15~	千葉地裁
28(土)	労災職業病なんでも相談会	13:00~	成田市中央公民館
8・25(土)	労災職業病なんでも相談会	13:00~	船橋市勤労市民会館
9・19(水)	千葉職対連常任幹事会	17:30~	民医連事務センタービル
29(土)	労災職業病なんでも相談会	13:00~	千葉市中央ミューゼウム